

1 ケースワークのアプローチ方法に関する次の組み合わせのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。
 トーマス 行動変容アプローチ (学習理論)
 パールマン 問題解決アプローチ
 ソロモン エンパワメントアプローチ

- ① エコロジカルアプローチ — ジャーメイン
 2 危機介入アプローチ — トーマス × キャプラン、リンデマン、ラポポート
 3 課題中心アプローチ — パールマン × エフスタイン、リード
 4 解決志向アプローチ — ソロモン × バーク、シェイザー
 5 心理社会的アプローチ — バーク、シェイザー × ホリス

2 相談援助の展開過程におけるインテーク面接に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

× エヴァリュエーション(評価)

1 インテークでは、クライアントと共に、課題解決のプロセスと結果について確認する。

② インテークでは、相談に来る人の初回面談だけではなく、相談したい人のいる場所に出向いて実施する場合もある。

③ インテーク場面では、相談者の訴えを傾聴すると共に、的確な質問を行い、問題やニーズをおおよそ把握する。

4 インテークでは、社会福祉士^{自身}が所属する機関・施設がその問題・ニーズの改善・解決に機能しそうでない場合、相談者にその点を説明して援助を展開する。

× 他機関を紹介(リファ)する etc

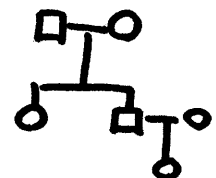
5 インテークでは、クライアントの課題について分析し、援助計画の立案を行う。
 プランニング(計画)

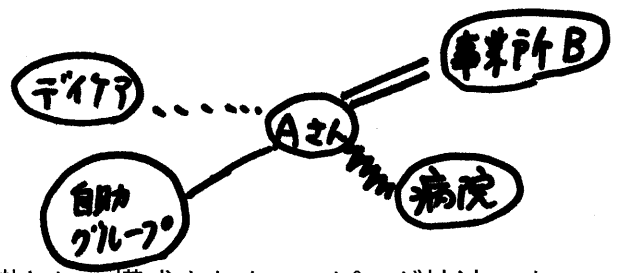
3 アセスメントにおけるマッピング技法の活用に関する記述のうち、

最も適切なものを1つ選びなさい。
 ソシオグラム … 小集団における人内内係を明らかにする。

1 ソシオグラムは、3世代以上の家族構成や人間関係を図式化するものである。

× ジェノグラム(世代関係図) ポーエンが体系化した。





2 エコマップは、精神分析学の理論を基礎として構成されたマッピング技法である。
 * エロジカル (生態学的) アプローチ ハートマン

③ エコマップは、ハートマンによって考案されたマッピング技法であり、「社会関係図」などと呼ばれている。

4 マッピングの技法は、アセスメントの際にクライアントを取り巻く周囲との関係性を知る手がかりとして最も有効である。 図式化 → アセスメント (分析)

* ファミリーマップ
 5 ジェノグラムは、家庭内の力関係など、家庭成員間の情緒的・心理的な関係などを、記号用いて図示する方法である。

毎年生る!!

4 スーパービジョンに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

情緒的に支えて バーンアウトを防ぐ。

1 自己の考え方とソーシャルワークの倫理との間で葛藤を感じているスーパーバイザーに対しては、管理的機能を発揮させたスーパービジョンが有効である。

* 支持

2 上司であるスーパーバイザーが、部下であるスーパーバイザーの能力等について考慮し、担当件数を増減したり配置転換するなどするのは、スーパービジョンの私人的機能と言える。 **職場環境を整える。**

~~管理的~~

3 スーパーバイザーがスーパービジョンを行う場合、スーパーバイザーが管理上の責任を負うことはない。**負う。**

④ スーパービジョンは、職能団体や職場外での契約関係で実施される場合もある。

5 スーパービジョンには、対価としての報酬が発生することはない。**×もある。**

5 アウトリーチに関する次の記述のうち、適切なものを 2 つ選びなさい。

1 アウトリーチは、サービスを必要とするクライアントの発見のための手法であり、情報提供やサービス提供の段階で使われることはな~~×~~。ある。

2 クライアントが、サービスの利用について難色を示している場合、クライアントの意思なので、あくまでも自己決定を尊重し、積極的な働きかけをしないことが重要である。

問題の所在と意識してもらう。

信頼関係の糸口を見つける。

する。

③ 精神障害者に対するアウトリーチは、未治療や治療中断している精神障害者等に、保健師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士等の多職種から構成されるアウトリーチチームが、一定期間、アウトリーチ支援を行うことにより、新たな入院および再入院を防ぎ、地域生活が維持できるように支援するものである。

④ **慈善** 事前組織協会(COS)の活動がソーシャルワークにおけるアウトリーチの始まりであるとされている。 **食団調査、面接相談、家庭訪問など**

5 アウトリーチは援助開始時に行うことが重要であり、展開過程途中では行わない。 **どのフェーズにおいても重要。** ~~×~~

毎年出る!! . . .

6 グループワークの開始期における社会福祉士の役割に関する次の記述のうち、適切なものを 1 つ選びなさい。

1 課題解決に向けた働きかけを行う。 → **作業期**

2 メンバーのニーズを把握して計画を立てる。 → **準備期**

3 グループ目標の達成度をメンバーと評価する。 → **終結期**

④ メンバーとグループ内のルール等を決める。 → **開始期**

5 個々のメンバーと 波長合わせを行う。 → **準備期**

7 介護保険法上の居宅サービスにおける担当者会議について、最も適切なものを1つ選びなさい。

介護支援専門員

1 居宅サービスにおける担当者会議は、原則として主治医の主宰により開催する。
✕

2 担当者会議は、専門職間の情報の共有が目的であるので、利用者や家族が会議に参加し意見を述べることは~~ない~~。**が重要。**

3 居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の日常生活全般を支援する観点から、介護給付等対象サービス以外の保健医療サービス、福祉サービス、そして、地域住民の自発的な活動によるサービス等の利用を含めて計画に位置付けるように努めなければならない。**指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に内する基準は案4号**

4 利用者もしくは家族の個人情報を用いる場合、同意を得ることができると予想できる場合には、利用者もしくは家族の同意を得なくともよい。**✕ 文書で得ておく**

5 サービス内容についての正しい見解を共有することが大切なので、職員間の意見が分かれた場合は、多数決により決定することが適切である。
✕

8 相談援助の記録に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

✕ 逐語体

1 説明体による記録では、実践の説明責任を示す根拠ともなるよう、事実の経過と共に、面接のやりとりを発話どおりに文字化する。

2 記録をとる場合、誰が読んでもわかるように専門用語は使用しないで記述する。
✕ 適切に用いて

3 記録はクライアントに開示される可能性を考え、本人に不利益な情報は記載しない。
ない。

4 記録は文字情報として残されるので、記号や図式は使用しないで作成する。
✕ 適切に使用して **※開示の際、第三者の個人情報に注意。** **表現方法に配慮**

大切なのは分かッやすさ。

→ 記録者の解釈や意見を加えず、経過を時系列に。
⑤ 過程叙述体による記述では、ソーシャルワーカーとクライアントとの相互作用を詳細に記載する。

9 相談援助における情報通信技術(ICT)の活用に関する次の記述のうち適切なものを1つ選びなさい。

① 新型コロナウイルス蔓延の影響により、ICTの導入等が進んだ。
オンラインによる面会等

2 情報通信技術の普及は、多くの福祉分野にも導入されてきているが、障害者分野における就労支援ではまだ導入されておらず、今後の課題となっている。

A型手帳等 etc

3 日本社会福祉士会の社会福祉士の行動規範においては、利用者情報の電子媒体等の管理について、厳重な管理体制と最新のセキュリティへの配慮についての規定はない。 ~~ある。~~ 「情報の共有」「個人情報の乱用・紛失その他の危険に対し、安全保護に肉する措置。」

4 介護保険法には介護サービス情報の公表に関する規定があり、市町村長または指定情報公表センターが介護サービス情報を公表するとされている。
115条35
最新情報と学ぶ
原因やリスクの
郡道府県知事

5 ICT導入のデメリットの1つとしてコストの課題があるが、導入に関して助成金などはない。
2020(R2)7月「介護ロボット導入支援事業」
「ICT導入支援事業」
がある。

10 相談援助におけるアセスメントに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1 アセスメントとは、要介護者のもつ個別・具体的な生活課題を明らかにすることであり、サービス計画作成の後に行われる。

× 前に

② アセスメントにより収集した情報は、問題解決との関連性を考えて、組織化することが重要である。

3 情報収集は、クライアントとその家族のみに行う。

×
隣人、友人、同僚
関係機関の職員 etc

個人や個人を取り巻く
環境を全体的に、総合
的にとらえる

4 アセスメントの対象は身体的機能のみでなく精神状態も含むが、社会環境は含まない。
む。 クライアントの生活全体 プラス面もマイナス面

5 アセスメントは、課題分析表を使用して1回で終了させなければならない。
介入保険の 回数に及ぶことも。 認定調査は原則1回

11 ソーシャルワークにおける援助関係に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。
選考感情... 偏った感情でみる場合に

1 援助関係における選考感情とは、援助者とクライアントとの間に生まれる相互信頼の関係のことであり、両者の間の対等性、公平性が前提になる。

② エンゲージメントとは、相談者と援助者が目標の達成に向けて契約を結ぶことである。
(=インターク)

3 パターナリズムとは、**援助者の権威的な立場を**否定し、対等な立場を重視した援助関係のあり方のことである。
意見に肉体なく保護的にクライアントの代わりに意見を述べたり行う。

4 援助者が、過去に出会った人物に対する感情や態度を利用者に向けてることを、**転移**と言う。
転移... クライアントへ援助者に向けてる。

逆転移

5 アンビバレンスとは、肯定的感情と否定的感情など同一対象に相反する感情が同時に存在しないことを言う。
愛と憎しみ etc 報りたいと 離れたい etc

12 自助グループに関する次の記述のうち、より適切なものを2つ選びなさい。

1 自助グループは、グループの構成員の力によって結成されるので、専門職や専門機関の援助を受けることはない。
グループを形成する段階では受けることもある。

② 自助グループにおいては、ヘルパー・セラピー原則が成り立つ。

援助をする人が最も援助を受ける

3 自助グループの特質は、同様の生活課題をもつ人が集まり相互に助け合うところであり、ソーシャルアクションに発展することはない。

×もある。 (社会改革の必要性に気づき動く)

4 自助グループは、当事者性が重視されるので、家族のみのグループは自助グループではない。

患者や障害者本人のみ、家族のみ、本人と家族.....
のほ.

⑤ 自助グループの活動は、メンバーによって行われ、多くの場合、専門家(ソーシャルワーカーなど)は運営の主要な事柄には関与しない。

自助グループ ⇒ メンバー主体. **サポートグループ ⇒ メンバーと専門家.**

13 相談援助におけるモニタリングに関する次の記述のうち、適切なものを 2 つ選びなさい。

1 モニタリングでは、支援の実施状況をできるだけ客観的に把握するために、クライアントの主観的な言動は評価に含めな~~い~~ようにする。

る **フェルト・ニース**

② モニタリングは、クライアントについての継続的なアセスメントも含む。

3 モニタリングは、支援計画が適切に実施されたかどうかを確認するものであるため、支援終了後に実施する。

開始から終結まで定期的な何度も.
×

4 モニタリングにおいては、初めに設定した目標が達成されたかどうかを確認するものであるため、心身状況や環境が変化しても、目標を変更することはな~~い~~。

*** 変化に応じて変更する**

⑤ モニタリングにおいては、援助目標が達成され、クライアントの生活に改善がみられるかを確認する。

14 相談援助の展開過程における介入(インターベンション)に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

① 介入は、クライアントシステムと環境の相互作用に変化を引き起こすように働きかける。

2 介入は、クライアントへの働きかけを優先し、エンパワメントすることで有用な社会資源を活用できるようにする。

何より?? クライアントと環境の双方への働きかけを通じて

× 2と同じ。双方へ。

3 介入は、環境への働きかけを優先し、クライアントに応答的に対応できるようにする。

4 介入において、援助者は専門的知識と技術により、クライアントの課題をソーシャルワーカーが主体となって解決をすすめる。

× クライアントが主体となる

5 クライアントを権利擁護するアドボカシー活動は介入の機能は含まれない。

代替etc 間接的な介入の例。

15 事例を読んで、A職員が介入したレベルについて、適切なものを1つ選びなさい。

【事例】 社会福祉協議会に勤務するA職員(社会福祉士)は、地域で生活する方々を支える業務を中心に活動をしている。担当するBさん(男性、60歳、独居)より地域美化が街の活性化になるのではないかと、自らボランティア活動をしたい、という希望が出された。そこでA職員は、所属する部署の上司と相談し、社会福祉協議会および関係各所に要請を出すと共に、関係部署と交渉した。その結果、地域でのボランティア活動開始への取り組みについての了承を得ることができ、実際に活動を市民の人と開始することにつながった。

.. → 下位レベル

1 サブレベル

② マクロレベル 地域

3 ミクロレベル 個人・家族

4 エコレベル 個人が直接的に参加していないが、個人が属するミクロ・メゾレベルのシステムに影響をおよぼす

5 メゾレベル
グループ・組織
地域住民など
可能性のある場面

16 事例を読んで、A社会福祉士のCさんに対する対応について、より適切なものを2つ選びなさい。

【事例】 A社会福祉士は、放課後等デイサービスの職員である。このところ、放課後等デイサービスの利用者であるB君(軽度の知的障害あり)の母親であるCさんから、毎日のように電話がかかってくる。いったん電話をとると1時間以上、話

をやめてくれないが、さほどの用事ではない。 **10人的に X.**

1 「当事業所は、お母さんの相談を受ける場所ではありませんので、電話をするのはやめてください」と C さんに伝えた。 **!!**

② C さんの行動の意味を知るために、B 君を迎えに来た時に一度話をしてみることにした。

3 「業務妨害にあたるので警察に通報します」と C さんに伝えた。 **!!**

④ 児童相談所に現状を説明し、助言を依頼した。

5 お母さんの様子を B 君に聞いてみた。 **!!**

毎年生ます!!

17 スーパービジョンに関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

1 スーパーバイザーは、スーパーバイジーと同じ職場で勤務する上司や教育担当者でなければ ~~な~~らない。 **契約により 機能団体や職場外も。**

2 スーパービジョンにおいて、スーパーバイジーの職務上の心の揺らぎなどに対してサポートを行うのは、教育的機能である。

支持

3 自分が行った援助や業務を、スーパーバイザーの指導のもと、確認・点検するスーパービジョンを セルフ・スーパービジョン と言う。 *** 自分自身**

自分で

4 社会福祉学以外の特定の領域に関する知識や技術について、その領域の専門職から助言指導を受けることを、個人スーパービジョンと言う。

5 複数のスーパーバイジーが 1 人のスーパーバイザーから受けるスーパービジョンを、グループスーパービジョン と言う。

**コンサルテーション
(対等)**

**スーパービジョン
(上下関係)
管理責任**